

## 世界の名門オーケストラ

ワルター、クナッパーツブッシュ、クレンペラー、  
小澤征爾、E.クライバーらの巨匠が指揮台に立った  
ドイツ音楽の歴史と伝統を背負った名門

# ドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団



ミハエル・ザンデルリンク

ドレスデン・フィル

指揮：ミハエル・ザンデルリンク(首席指揮者)

## ベートーヴェンの神髄

# 運命 田園

6月21日(金)午後7時開演

武蔵野市民文化会館大ホール

S席 7,000円 A席 6,000円

好評発売中!

アルテ友の会会員は10%引き(アルテ友の会には年会費1,000円で入会可)

## メトのコロラトゥーラの女王

メトロポリタン歌劇場で『魔笛』の夜の女王を歌い続ける  
超絶技巧の名花エリカ・ミクローシャがヴィオレッタを歌う

# ハンガリー国立歌劇場

## ヴェルディ:歌劇

来日を果たしていない  
大物歌手の筆頭に挙げられる  
プリマドンナが遂に来日

# 椿姫

ハンガリー国立歌劇場管弦楽団・合唱団・バレエ団 字幕付

6月18日(火)午後6時30分開演

武蔵野市民文化会館大ホール

好評発売中!

一般 S席14,500円 A席13,000円 B席10,000円 C席8,000円

アルテ友の会会員 S席13,000円 A~C席 10%引き

(アルテ友の会には年会費1,000円で入会可) ※歌手の出演については、ハンガリー国立歌劇場の確約を取っておりますが、万が一健康上の理由などにより変更となった場合でも払い戻しはございません。予めご了承ください。



エリカ・ミクローシャ

公益財団法人 武蔵野文化事業団

www.musashino-culture.or.jp

●チケットのお申し込み

☎ 0422-54-2011

●チケット取り扱い窓口

●武蔵野市民文化会館 ●武蔵野芸能劇場 ●武蔵野公会堂 ●武蔵野スイングホール  
●吉祥寺シアター ●吉祥寺市政センター ●武蔵境市政センター ●中央市政センター

# 佐々木マキ見本帖

会期 4月6日(土)~6月23日(日)

前期：4月6日(土)~5月15日(水) 後期：5月18日(土)~6月23日(日)

※前後期で展示作品が異なります。

休館日=4月24日(水)、5月29日(水) 前後期展示替=5/16(木)・17(金)

企画協力=メディアリンクス・ジャパン

協力=こどもの本WAVE、絵本館、太田出版、金正陶器、教育画劇、金の星社、講談社、小学館、株式会社PHP研究所、福音館書店、フレーベル館

学生時代からマンガ家として注目され、マンガ雑誌『ガロ』や『朝日ジャーナル』などで独創的な作品を発表していた佐々木マキは、1973年に絵本『やっばりおおかみ』（福音館書店刊）で絵本作家としても衝撃的なデビューを果たしました。

『ぼくがとぶ』（1975年 福音館書店刊）、『ねむいねむいねずみ』（1979年 PHP研究所刊）、『ムッシュ・ムニエルをごしょうかいします』（1978年 福音館書店刊/2000年 絵本館より復刊）などの絵本を発表する人気絵本作家として活躍するとともに、村上春樹らの小説の挿絵担当など、幅広い世代に親しまれてきました。2011年には初期のマンガを取録した作品集『うみへのまち 佐々木マキのマンガ1967-81』が太田出版より刊行され、前衛的・実験的と評された当時のマンガ作品に再び注目が集まっています。

本展は、「佐々木マキ見本帖」と題して、約40年間の多岐にわたる創作活動を振り返るもので、マンガや絵本の原画のほか、挿絵や装丁画、版画など貴重な作品約200点を前後期に分けて展示します。かつてマンガを愛読していた世代から現在絵本に親しんでいる小さな子どもたちまで、佐々木マキのシュールでクールな不思議世界を多くの方々にお楽しみいただける絶好の機会となることでしょう。

## イベント

- ① 座談会 5月3日(金・祝) 絵本編集者による座談会
  - ② 講演会 6月8日(土) 講師：夏目房之介(マンガコラムニスト)
- ※会期中に、こどもの本WAVE代表・穂積保氏によるギャラリートークや、佐々木マキ氏のサイン会などの開催も予定しています。
- ①、②含め詳細は変更することがありますので、お問い合わせください。



『やっばりおおかみ』福音館書店刊 ©Maki Sasaki, 1973



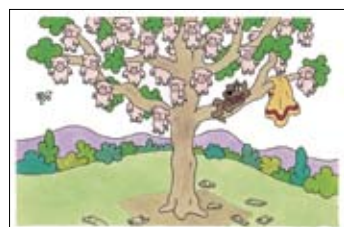
『クイクイちゃん』絵本館刊 ©Maki Sasaki, 2012



『いしのロベルタ(部分)』絵本館刊 ©Maki Sasaki, 1991



『はぐ(部分)』『こどものとも』福音館書店刊 ©Maki Sasaki, 2011



『またまたぶたのたね』絵本館刊 ©Maki Sasaki, 2009

記念室のご案内 開催：6月23日(日)まで

### 〈浜口陽三記念室〉

#### 海をわたってみえたもの

カラーメゾチントを開発したとして海外での評価も高い浜口陽三ですが、その作品に従来日本より培われてきた美的文化がみられることも称賛の一要因です。日本と西洋の文化が混在した作品のひとつとして浜口の銅版画を紹介します。



『2匹のてんと虫』1978年

### 〈萩原英雄記念室〉

#### 哀愁のサーカス

萩原英雄が好んで描いたモチーフのひとつであるサーカスをテーマにした作品を中心に展示します。国際的な評価を得た木版画だけではなく銅版画やリトグラフ作品も併せて紹介し、どこか哀愁漂うその世界をお楽しみいただけます。



〈サーカス No.7〉1968年

次回展のご案内 2013年7月27日(土)~9月8日(日)

## 佐藤真生展 home(仮称)

不思議でどこなく懐かしさを感じさせる作品をつくりだす画家・佐藤真生は武蔵野市の友好都市・山形県酒田市出身。新作をまじえ、その独特な世界を紹介します。



## 武蔵野市立吉祥寺美術館

〒180-0004 武蔵野市吉祥寺本町1-8-16 F&Fビル(コビス吉祥寺A館)7階 ☎0422-22-0385  
ホームページ [http://www.musashino-culture.or.jp/a\\_museum/](http://www.musashino-culture.or.jp/a_museum/)  
★ツイッターはじめました！ [http://twitter.com/kichi\\_museum](http://twitter.com/kichi_museum)

開館時間：午前10時~午後7時30分

休館日：毎月最終水曜日(祝日の場合は翌日)  
年末年始、展示替えおよび特別整理期間

入館料：100円(小学生以下・65歳以上・障がい者は無料)

■交通案内 / JR、京王井の頭線「吉祥寺駅」中央口下車 徒歩3分